

2年 学年だよ！ (かけ算号)

令和2年10月7日(水)

かけ算について

12日(月)より、かけ算の学習に取り組んでいきます。「かけ算とは何か」をしっかりと理解していくために教科書以外にも独自のプリントで学習を進めていきます。お家やホームでも、子どもたちがどのような学習をしているのか目を通してみてください。

かけ算の学習ポイント！

① かけ算の意味

『同じ数のものがいくつかあるとき、その総数を求めるためには今まで学習してきた「たし算」よりも「かけ算」を使うほうが便利である』ということを実感することがポイントです。

そこで上の文の(同じ数のもの→1あたりの数)(いくつかある→いくつ分の数)(総数→ぜんぶの数)という言い方に置き換え、かけ算とは・・・

$$\boxed{1あたりの数 \times \text{いくつ分の数} = \text{ぜんぶの数}}$$

という式で表されることを理解していきます。この意味を理解するために時間をかけて学習していきます。

② かけ算の問題文を読み取る

文章問題からかけ算の式を導き出す手立てとして、問題文の中から(1あたりの数)(いくつ分の数)(ぜんぶの数)を探し出して、それぞれ赤、青、黄のペンで囲み整理して考えられるようにします。

$$\boxed{1あたりの数(赤) \times \text{いくつ分の数}(青) = \text{ぜんぶの数}(黄)}$$

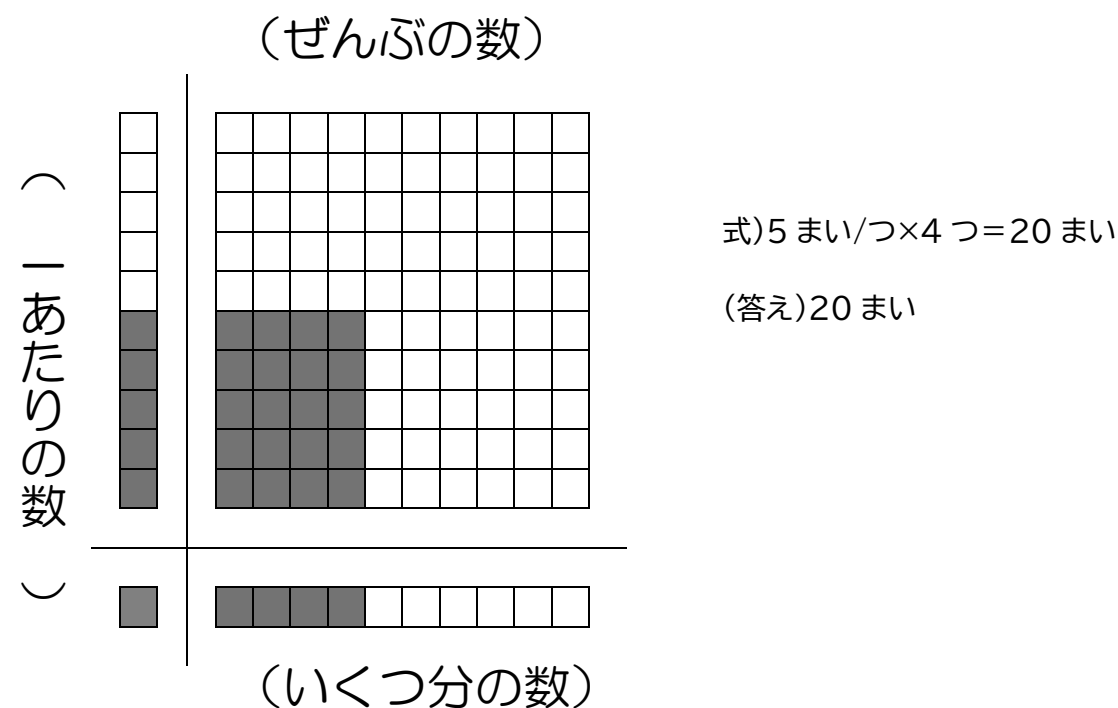
③ 式には必ず助数詞をつける

立式するとき、1あたりの数には、**2まい**／**はこ**(1はこあたり2まいと読みます。)いくつ分の数やぜんぶの数には**5はこ**、**10まい**など数字に助数詞をつけます。式にも意味を持たせるため、また3年生で学習するわり算をスムーズに理解するために導入しています。また助数詞は、文章問題の式には必ずつけるようにしています。

④ タイル図を使う

数字だけでは、なかなか量的なイメージがつかめないので、視覚的に量のイメージを持たせるためにタイル図を使います。タイルは、1年生のときから馴染みが深いと思います。

さくらの花びらは、花**1つ**あたり **5まい**です。
花が **4つ** では、花びらは **ぜんぶ**で **なんまい**に なりますか？



⑤ 九九カードの学習

プリント教材の学習に加えて、九九カードの学習も進めています。2学期終了までには上がり九九、下がり九九、バラ九九がスラスラと言えるようになってほしいと思います。定着まで個人差があるかもしれませんが、毎日コツコツ学習を積み重ねることで、必ず身につけていきます。ご家庭・ホームでも「ここまでできたね。」と励ましてあげてください。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

本日、九九カードを配布しました。カード、一枚一枚に名前の記入をよろしくお願いいたします。(学習を進めていく上で、バラバラにします。)23日(金)までに持って来てください。